

日本保健物理学会 新 Newsletter 2019 年 3 月 26 日号

送信者:一般社団法人日本保健物理学会<exec.off@jhps.or.jp> 2019/03/26 19:09:59

-----  
日本保健物理学会 新 Newsletter 2019 年 3 月 26 日号  
-----

1. 学会関連情報

○企画委員会 企画シンポジウム及び総会開催のお知らせ

2019 年 6 月 20 日（木）終日～21 日（金）午前中 会場：東京大学 工学部 2 号館 213 講義室

総会は、6 月 20 日（木）に開催、懇親会は、6 月 20 日（木）1700-1900

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/event/page.cgi?id=15>

○[再掲]理事会 2019 年度会費納入のお願い 3/31 までの納入にご協力の程よろしくお願い申し上げます。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=148>

○[速報]編集委員会 2018 年発行の学会誌（53 巻 1 号から 4 号）掲載記事が国際文献データベース Scopus に収録

<https://www.elsevier.com/ja-jp/solutions/scopus>

和文記事でも、英文要旨や参考文献が収録されています。今後投稿される皆様におかれましては、引き続き、参考文献の英語表記などにご協力をお願いいたします。

○編集委員会 「保健物理」53-4 号の冊子体（紙媒体）購入に関するご案内

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=150>

○平成 31 年度国際的機関主催会合等への若手派遣事業について（放射線防護アンブレラ事業）

OECD-NEA 主催の国際放射線防護スクールと ICRP 主催の国際シンポジウムを対象とします。

<http://www.umbrella-rp.jp/ref.php#20190318>

2. 関連する研究情報

○（公財）放射線影響協会 国際交流助成事業「国際研究集会海外派遣助成」、「調査研究海外派遣助成」、「外国人研究者招へい助成」

2019 年度第 2 期分（2019 年 8 月～11 月出発分）について現在公募中。（締切：5 月 15 日）

[http://www.rea.or.jp/kikaku/kenkyujyosei/kenkyujyosei\\_main.html](http://www.rea.or.jp/kikaku/kenkyujyosei/kenkyujyosei_main.html)

○[再掲]国際シンポジウム ISORD-10 (10th International Symposium on Radiation Safety and Detection)

(7 月 16-19 日、中国太原 (Taiyuan)、アブストラクト提出〆切 5 月 15 日)

<http://www.isord-10.org.cn/>

(論文情報)

○Radiation Measurements Available online 19 March 2019

CAThymARA project (Child and Adult Thyroid Monitoring after Reactor Accident)

(<https://www.eu-neris.net/projects/operra/operra-cathymara.html>)

の活動の一つとして、大規模な原子力事故後の甲状腺モニタリングに関する現存する各国のプランや方法のレビュー及び国際的な勧告や推奨のレビューを行ってきた。

アンケート調査に答えたヨーロッパ18カ国の31の研究所からの回答を解析しまとめた。その結果、外部・内部被ばくの個人モニタリング及び甲状腺モニタリングの詳細な手順が不足していることを示した。現在、ヨーロッパには統一されたガイドライン(クライテリア、プロトコル、防護策)がない。将来に備えて準備すべきである。

A survey on emergency thyroid monitoring strategies and capacities in Europe and comparison with international recommendations

Gil O M et al

<https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S1350448718308011>

○Int J Cancer, First published: 15 March 2019

原爆被ばく生存者の大腸がん罹患率を、生活習慣である喫煙、飲酒、肉摂取頻度とBMIで調整して、部位別に放射線リスクを調べた。喫煙、飲酒、BMIはベースラインの罹患率と関係していた。全部位でのERRが0.63(30歳に被ばくして70歳での男女平均)、近位部位で0.80、遠位部位で0.50で有意に高く、直腸では有意に高くなかった。近位部位と遠位部位との間に有意な違いはなかった。しかし、近位部位のERRは到達年齢と共に減少せず、遠位部位は減少していた。

Radiation risk of incident colorectal cancer by anatomical site among atomic bomb survivors: 1958 - 2009

Sugiyama H et al

<https://onlinelibrary.wiley.com/doi/abs/10.1002/ijc.32275>

○Radiat Environ Biophys. 2019;58:in press (電子版先行掲載3/16).

ロシアのマヤック作業員では、白内障の放射線リスクは有意に増加していることをこれまでに報告してきたが、本論文では白内障外科手術の放射線リスクが有意に増加しないことを新たに報告。

Risk of cataract removal surgery in Mayak PA workers occupationally exposed to ionizing radiation over prolonged periods

Azizova TV et al

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/30879144>

○JAEA-Research 2018-012

東京電力福島第一原子力発電所事故時のオフサイトの防災業務関係者の外部被ばく線量を評価した。

2011年3月12日から31日までの防災業務関係者の1日毎の個人線量の最大値は12日に双葉町で避難支援に従事していた防災業務関係者の650 $\mu$ Svであった。

この防災業務関係者の外部被ばくの被ばく経路は、大気拡散沈着計算の結果よりクラウドシャインが主な被ばく経路であると推定される。

External dose evaluation of emergency responder in off-site at the time of Fukushima-Dai-ichi Nuclear Power Station Accident

嶋田 和真 他

<https://jopss.jaea.go.jp/search/servlet/search?5064145>

### 3. ニュースや社会の動き

○原子力規制庁 第144回総会放射線審議会(3月15日開催)の配布資料及び会議映像を公開  
眼の水晶体に係る放射線防護の在り方について/女性の線量限度に関する現状の整理について

<https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/houshasen/00000038.html>

○原子力規制庁 「特定放射性同位元素に対する防護措置の義務化等に伴う関係法令等の改正案」に対する意見公募を開始。(締切:4月20日)

[https://www.nsr.go.jp/procedure/public\\_comment/20190322\\_01.html](https://www.nsr.go.jp/procedure/public_comment/20190322_01.html)

○原子力規制庁 環境放射線モニタリング技術検討チーム、「緊急時における $\gamma$ 線スペクトロメトリーのための試料前処理法」の改定等を議論

[https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/youshikisya/kankyo\\_houshasen/00000014.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/youshikisya/kankyo_houshasen/00000014.html)

○日本原子力文化財団 2018年度原子力に関する世論調査結果を公表・原子力に対して「ややホ?シ?ティフ?側」に變動した可能性か?ある。

<http://www.jaero.or.jp/data/01jigyuu/tyousakenkyu30.html>

○米国放射線防護審議会(NCRP)2019年(創立90周年記念)公開年会(2019年4月1日から2日に米国メリーランド州ベセスダで開催)の要旨集を公開

[https://ncrponline.org/wp-content/themes/ncrp/PDFs/2019/Program\\_3-20.pdf](https://ncrponline.org/wp-content/themes/ncrp/PDFs/2019/Program_3-20.pdf)

### 4. これからのイベント

○放射線計測研究会 第72回研究会 (4月20日13:30-17:00、東京大学 工学部 12号館 222室)

<https://sites.google.com/site/radmeas/home>

○第16回 日本放射線安全管理学会6月シンポジウム (6月27-28日、東京大学 農学部 弥生講堂一条ホール)

<http://www.symposium.jrsm.jp/2019/>

### 5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 任期制常勤職員(主任研究員/内部被ばく線量評価チーム)募集(締切:4月4日必着)

[http://www.qst.go.jp/Portals/0/pdf/recruit/JN/NIRS/H31/31nirs\\_65.pdf](http://www.qst.go.jp/Portals/0/pdf/recruit/JN/NIRS/H31/31nirs_65.pdf)

既発行の新 Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

新 Newsletter にて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

-----

【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同企画委員会

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: [exec.off@jhps.or.jp](mailto:exec.off@jhps.or.jp)

-----